

決算
SHINSA
開催中

その効果を質疑で明らかにして、認定すべきか審査！

民生常任委員会



●がん検診実施時期の変更を！【健康増進課】

問：夏の暑い時期の実施は変えられないの？

答：委託先の民間検診機関の年間スケジュールが決まっています。なるべく真夏は避け早い時期からスタートできるように調整はしています。広い会場、エアコンがある会場を選び、待ち時間が長ならないように配慮しています。

●考案したのはいいけれど…【介護保険課】

問：介護予防体操の活用状況は？

答：DVDやQRコードの読み取りで動画を活用できるようにしました。各地区高齢者サロン等の集会や介護予防サービス計画作成対象者などを対象に啓発し活用を進めています。

●医療 MaaS の利用方法は？【病院事業局】

答：現在は予約制となっています。状態の安定した患者に対して、3か月に1回程度 MaaS 車両が自宅に赴いて医師が院内からオンライン診療を行います。軌道に乗れば、巡回型や集合型の診療などに対応していくことも視野に入れています。

●産後ケア事業の利用者の反応は？【健康増進課】

答：アウトリーチ型（訪問型）をすることで、普段の赤ちゃんの様子を見ながらケアしてもらえたり、家族も一緒に加わることができる点など好評でした。指導により、授乳がうまくできるようになったなどの声がありました。

●年度で途切れのない交付を【介護保険課】

問：年度末に就職した場合、介護従事者就労定着支援金の申請期間が短く、間に合わないケースがあるため、猶予期間を設けることはできませんか？

答：要綱改正による猶予期間設定を検討中です。

●ゴミ出しボランティアの登録と依頼状況は？【介護保険課】

答：登録は数件で進んでいません。民生委員などの協力を得て地域のニーズ調査を行い、今後のゴミ出し支援について検討しています。

●看護学校運営の後は？【病院事業局】

答：最近では近隣に4年制の看護学科が増え、競争相手となっていますが、3年課程も需要があると考えています。

町立病院の看護師確保の観点からも必要です。令和6年度、寮費や食費を近隣校と同程度に下げ、貸し付ける修学資金で賄える設定にしました。

また、社会人学生の確保に向け、職業訓練施設として認定を受ける予定であり、ハローワークに周知をお願いしました。

決算
SHINSA
開催中

今後の事業に活かされるよう提言

建設環境常任委員会



●ゴミ袋のコスト【生活衛生課】

問：ゴミ袋1枚当たりの製造コストは？

答：可燃ゴミ（大）は1袋20枚入りを410円で販売しており、原価は221円10銭です。原材料費の高騰により販売収益は年々少なくなっていますが、販売委託料や販売価格について、変更する方針は今のところありません。

●柑橘産業の後は【農林水産課】

問：柑橘の生産量が減少しつつありますが、今後のビジョンはありますか？

答：県、JAと取り組んでいる「柑橘産地継承プラン」では出荷量目標3,000トンを掲げています。「せとみ」を推奨するなど、品種を絞って特化していく方針です。

●各水量の差【水道事業】

問：総配水量と有収水量の考え方、その差で考えられる原因は何か？

答：総配水量は各配水池から配出された水量、有収水量は料金が発生した水量です。差の要因は、水質保持のためドレンの排水や漏水等。老朽化、施設数が多いことや管路延長が300km以上あることが要因と考えており、漏水が約5割を占めます。

総配水量		
有収水量	無収水量 (漏水等)	漏水等
責任水量（町が必ず買い取らなければならない水量）		

●地域公共交通にかけた経費は？【商工観光課】

問：地域公共交通活性化協議会運営補助金は、どのようなことに使ったの？

答：奥畑線デマンド交通実証運行に400万円支出したほか、地域公共交通共創モデル実証プロジェクト事業に約1,500万円、地域公共交通利便増進実施計画策定事業に約600万円支出しました。

●ため池切開工事【施設整備課】

問：戸田地区中山ため池の切開工事について、数ある農業用ため池の中で選定された理由は？

答：ため池は町内に約580箇所ありますが、平成30年の西日本豪雨によるため池決壊事故を契機に、決壊した場合に下流域の家屋や公共施設等に重大な被害を及ぼす可能性が高いため池を「防災重点農業用ため池」に指定しました。指定した24箇所のうち、利用しなくなったため池は所有者などの同意が得られたら切開し機能を廃止する防災工事を推進しています。この度、当該ため池において同意が得られたため切開工事を行いました。